

連合宮城2025春季生活闘争

「3.25すべての働く者の底上げ集会」アピール

われわれは本集会において、「みんなでつくろう！賃上げがあたりまえの社会」のスローガンのもと、今次闘争を最後まで粘り強く闘い抜き、とりわけ中小企業およびパート・有期・契約等で働く労働者の賃上げをすすめ、さらには労働組合のない職場で働く仲間にも大きなうねりを広げていく決意を改めて確認した。

連合は、2025 春季生活闘争において、すべての働く人の持続的な生活向上をはかり、新たなステージの定着をめざす方針を掲げた。現時点までに示された回答は、産業による違いはあるものの、多くの組合で、昨年に引き続き高い水準の賃上げを獲得している。労使が、賃金・経済・物価を安定した巡航軌道に乗せる正念場であるとの共通認識のもと、企業の持続的成長、日本全体の生産性向上につながる「人への投資」の重要性について、中長期的視点を持って粘り強く真摯に交渉した結果である。また、有期・短時間・契約等労働者の賃上げ結果も、格差是正に向けて前進できる内容と受け止める。

先行組合が引き出した回答は、総じて後続く組合を勇気づけるものである。われわれは、先行する組合の引き出した闘いの成果を、中小組合、さらには組合のない職場へと波及させ、すべての働く者の賃上げと働き方の見直しを勝ち取るため、次のとおり交渉支援を強化していく。

1. 「賃金も物価も上がらない」というノルムを変えるのは今である。ヤマ場における相場形成の役割は、例年以上に重い。組合員および社会の期待に応えるべく、ヤマ場にむけて交渉を追い上げ、要求趣旨に沿った最大限の回答引き出しに全力をあげる。
1. 高い水準での相場波及をはかるため、連合本部・構成組織・解決組合・連合宮城が総力をあげて、後続く組合の交渉環境を支える。同時に労働組合のない企業の賃上げにむけた世論醸成に取り組む。
先行して回答を引き出した組合は、「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」の観点から、グループや関係する会社の交渉環境が担保されるよう、経営者に対して働きかけを行う。
構成組織は、諸要求に対する回答内容を速やかに連合宮城に報告するとともに、その後続く中小組合の最大限の回答引き出し・早期解決に向けてサポートする。

2025 春季生活闘争はこれからが正念場である。今次闘争では日本の労使の真価が問われている。社会の閉塞感を打破するためにも、労使は答えを出すときである。

すべての労働者への「人への投資」こそが、職場の、企業の、そして日本の未来を創る。この断固たる決意をもって、組織の総力を結集し、最後の最後まで、ともに闘おう！

2025 年 3 月 25 日
連合宮城 2025 春季生活闘争
3.25すべての働く者の底上げ集会